

評価って
どうとるの？



主体性・多様性・協働性
学びに向かう力
人間性 など

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

どのように学ぶか
(アクティブ・ラーニングの視点から
の不斷の授業改善)

学習評価の充実
カリキュラム・マネジメントの充実

何を知っているか
何ができるか

個別の知識・技能

知っていること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

知識・技能

知識…○○に気付いている。
○○が分かっている。



つながった！

そういうことか！

なるほど！

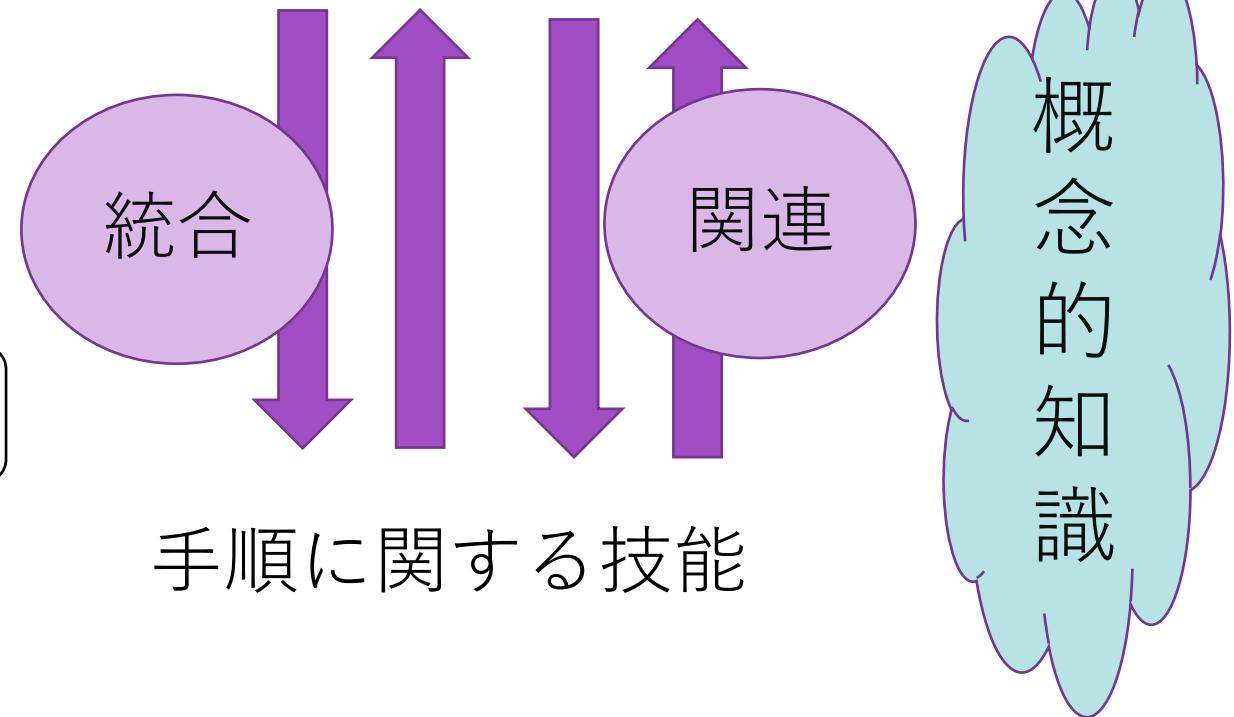
技能…△△において（の際）, ○○している。

安全への意識を高める

動物や植物の世話ができる

必要な道具を使って遊んだり,
ものをつくりたりする

具体的な事実に関する知識



思考力・判断力・表現力

○○して（しながら），△△している。

- ①見付けて
- ②比べて
- ③たとえて
- ④試して
- ⑤見通して
- ⑥工夫している



主体的に学びに向かう力

○○し、△△しようとしている。

- ①粘り強さ
- ②学習の調整
- ③実感や自信

単元の始めと最後



1年生活科 さかせたいなわたしのはな

・ 単元の目標

継続的に植物を栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子について考え、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけ、植物に親しみをもち、大切にすることができるようとする。



・ 知識・技能

継続的に植物を栽培する活動を通して、

植物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。

・ 思考力・判断力・表現力

継続的に植物を栽培する活動を通して、

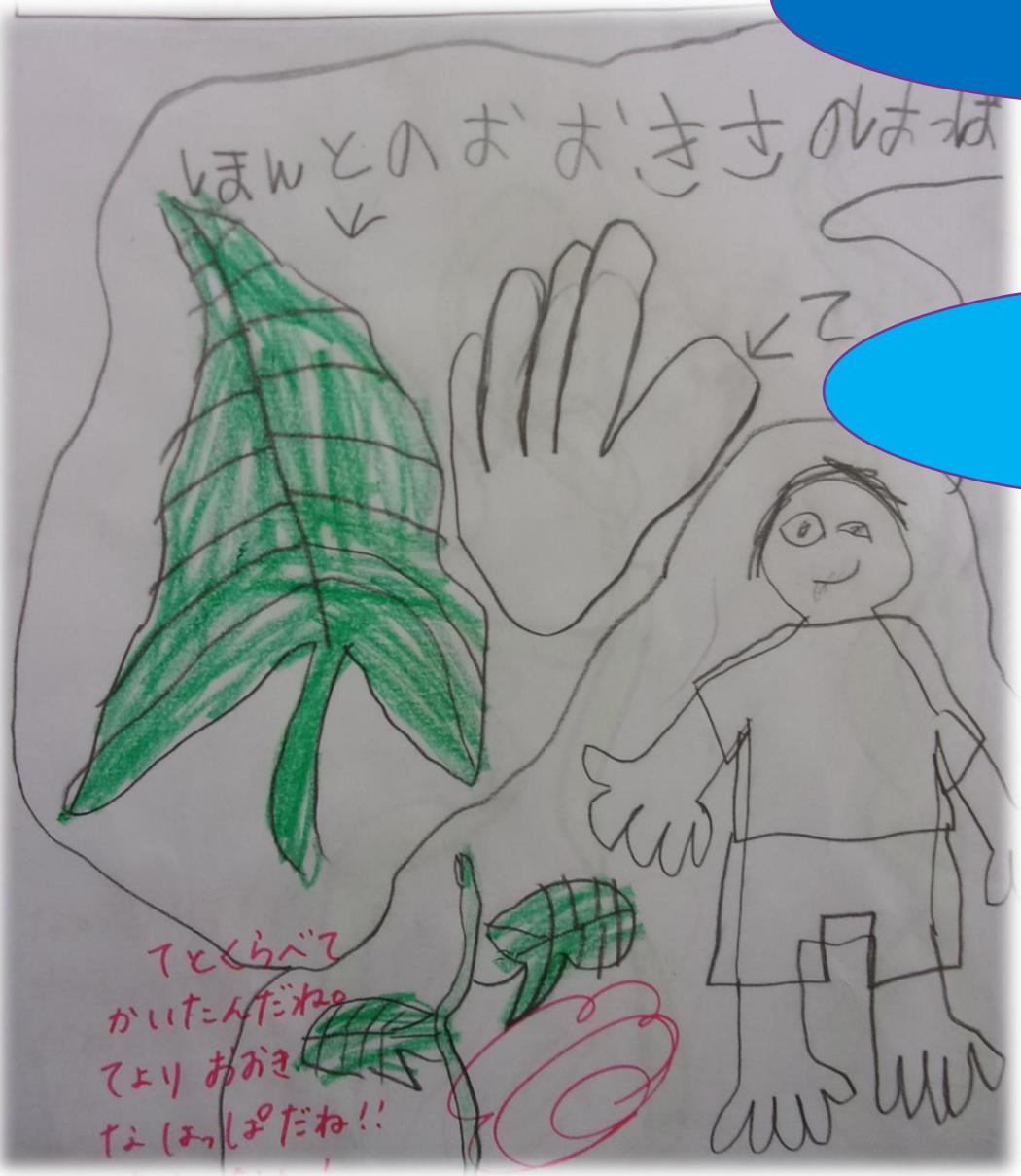
植物の育つ場所、変化や成長の様子について考えている。

・ 主体的に学習に取り組む態度

継続的に植物を栽培する活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとしている。

カードから

比べて



絵で表して



みてみて！ あなたがまなづいておりたかいよ！



思考力 A

表現力 A

よくみるとざらざらのけがある。
さわってみるとざらざらだった。
つるもざらざらやった。

つるをうえむきと、したむきにさわると、
さわりごこちがちがった。

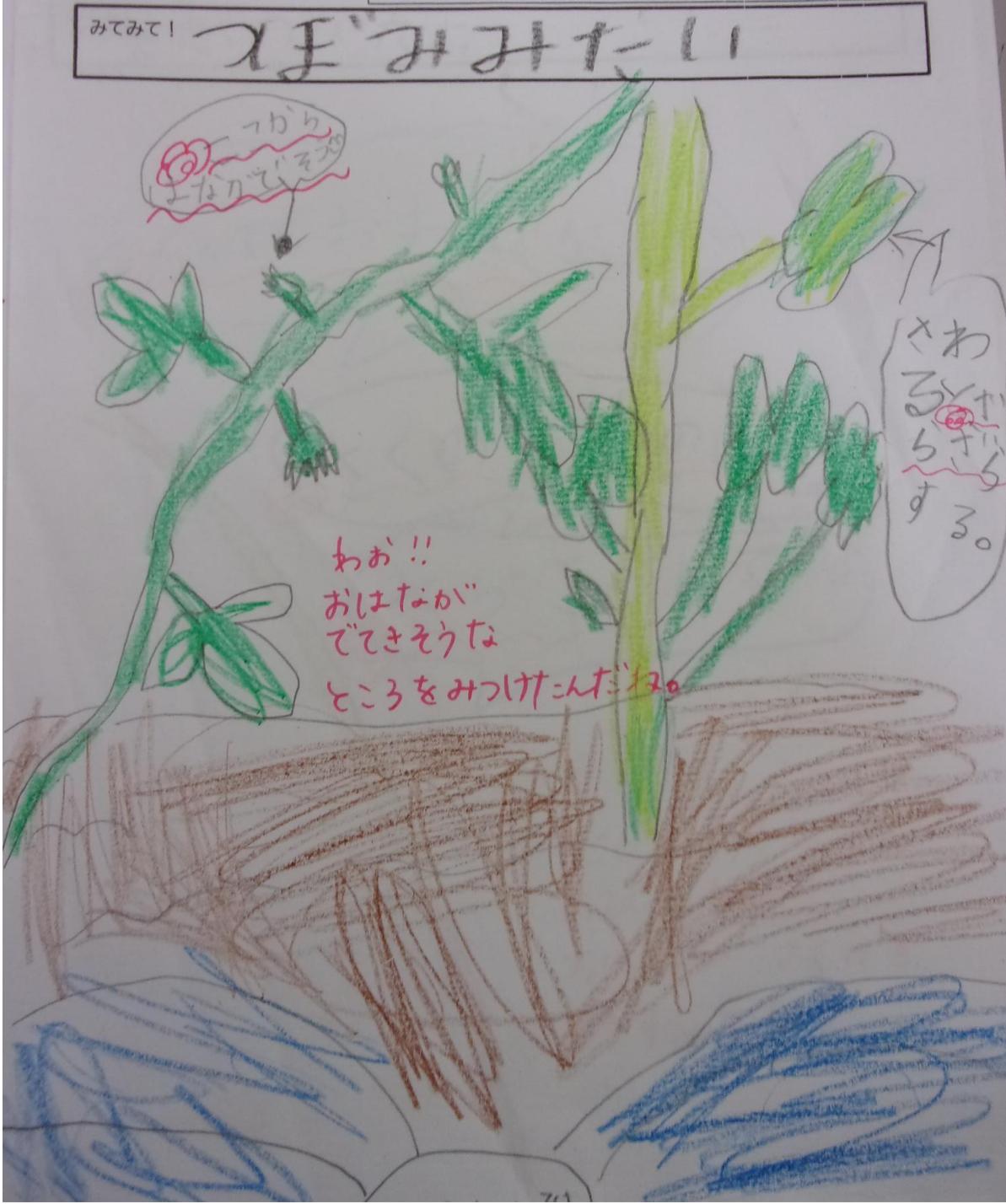


よくみるとざらざらのけがある
さわってみるとざらざらだった
つるもざらざらやった
さわりごこちがちがった

おもしろいことに
きがついたね。
どうして、さわりごこちが
ちがうのかな？

みてみて!

つまみみたい



ここから
はなができるそう

さわるとざらざらする

知識 A
思考力 A



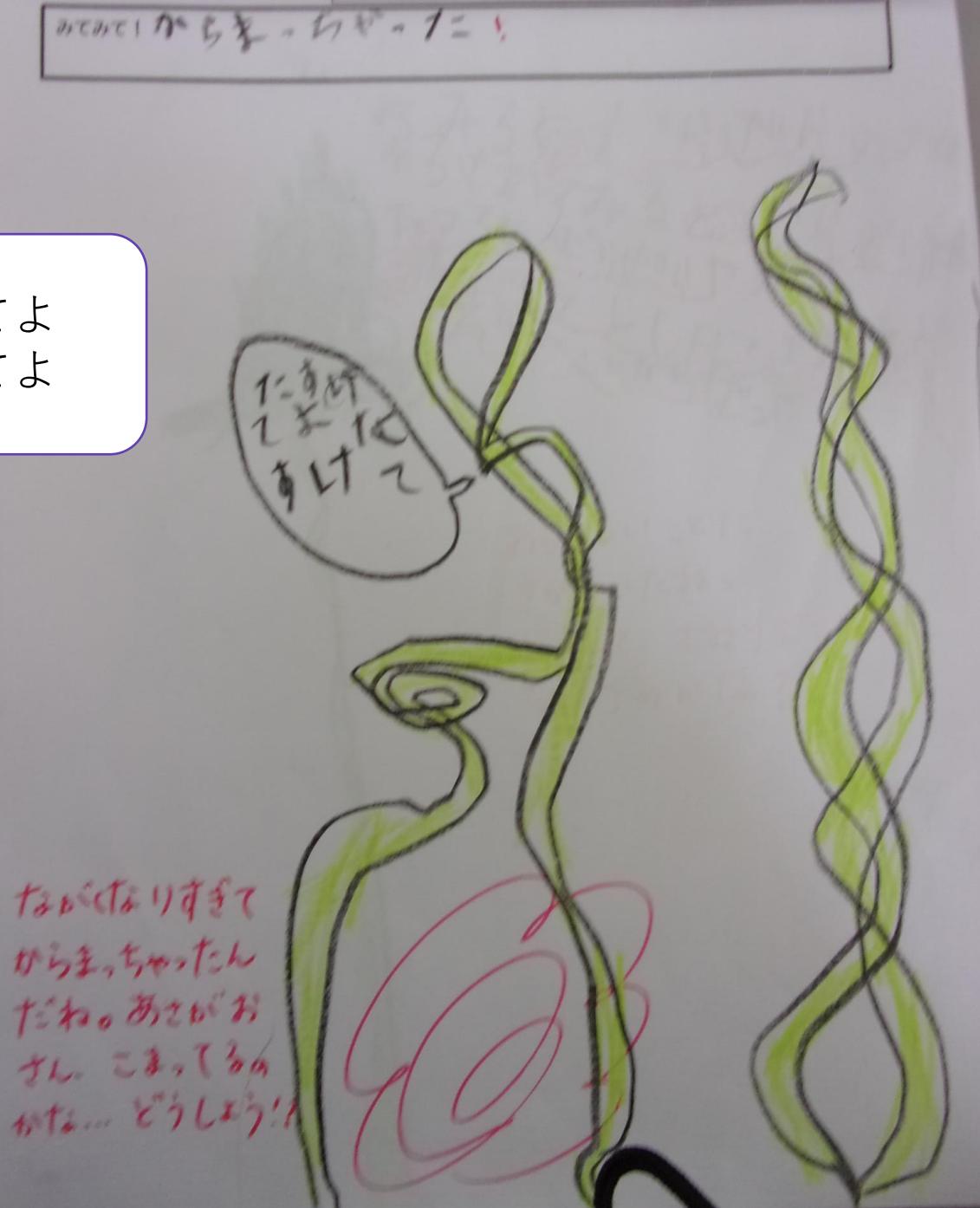


たすけてよ
たすけてよ

主体的に学習に
取り組む力 A



次時につなげる



みすずあそびやのいじり



すぱりんくらあに
ちかづいたら、あたまも
ぱんつも びしょぬれになったね。
ぬれて、きもちよがたにし、
うれしいきもちだ。たね!!

文を書くことが苦手な子には・・・



評価についてまとめ

- 評価基準を具体的な児童の姿として表しておく
- その後の学習指導に生かす
- バランスや一貫性・整合性を検討する
- 記録を継続的にとっていく
- 共感的な児童理解の力を高める



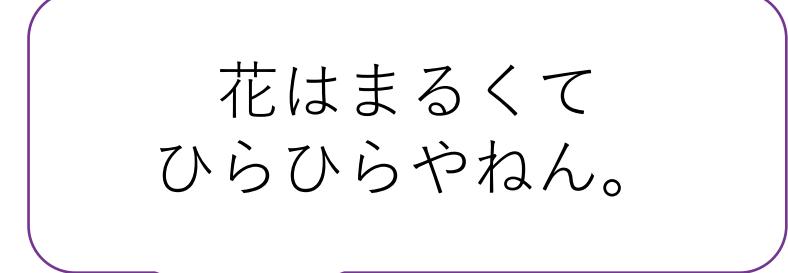
番外編：アサガオの花ってどんな形？ ——粘土で表してみよう。



細い線があるので。



花の奥に
何かあるで！

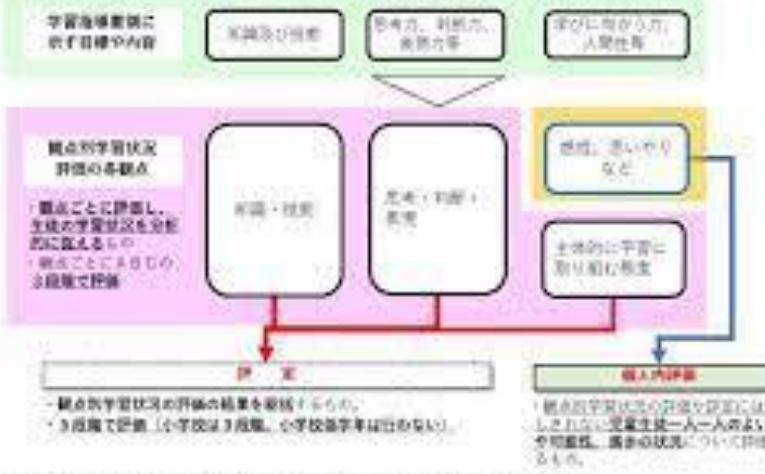


花はまるくて
ひらひらやねん。



花を立体的に
捉えることができた

- 各教科における評価は、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして学習状況を評価するもの（目標達成評価）
- したがって、目標達成評価は、範囲内での総合的な位置付けを評価するいわゆる総合評価とは異なる。



☆大切☆

○評価と評定は違う。

評価（学習評価の改善の基本方針 文部科学省R1地方協議会等説明資料）

- ① 児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと
- ② 教師の指導改善につながるものにしていくこと
- ③ これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと

○先生からのコメントや声掛けこそが「評価」

「見つけたんだね。すごいね。」×

「〇〇に気が付いたんだね。」（価値づけ）

「どうして△△なのかな？」（次の思考につなげる）